

IC 委員会 アンケート調査結果について

このたびは、情報コミュニケーション委員会のアンケートにご協力いただきありがとうございました。アンケート結果について報告させていただきます。図表中の数字は、回答数になります。

今回実施したアンケートでは、回答数が 166 件とやや少なかったですが、図 1～3 に示す通り様々な年代と職種の方にご回答いただきました。

アンケート調査期間: 2013 年 02 月 13 日 ~ 2013 年 03 月 22 日

アンケート回答数: 166 件

アンケート回答者に関する情報

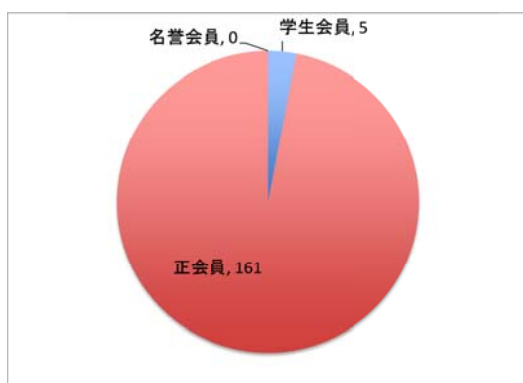


図 1: 会員種別

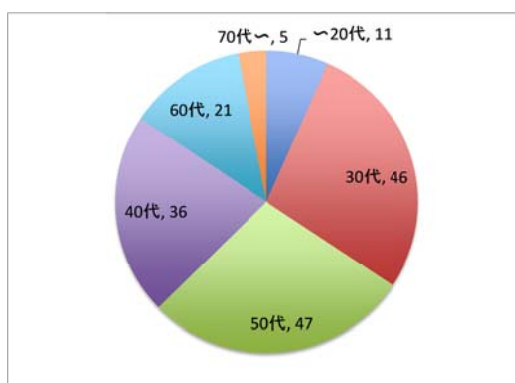


図 2: 年代

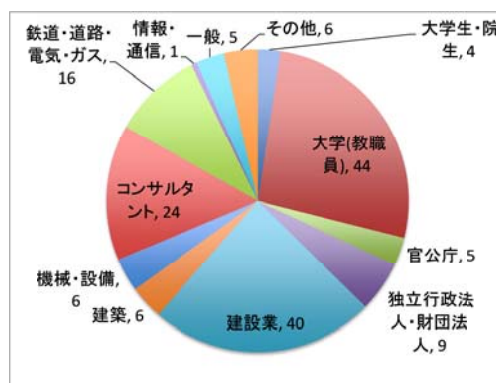


図 3: 所属

(図表中の数字は、回答者数です。)

日本地震工学会のホームページの閲覧に関する調査

学会のホームページへのアクセスについて、図 4、5 に示すように、PC でのアクセスが多く、頻度は、月 1 回以上アクセスしていただけていることが分かりました。また、図 6 より、アクセスのきっかけとして多いのは、メールニュースで関心のある記事を調べるときと学会情報としての論文や会誌、コラムを閲覧するときであることが分かりました。表 1 からは、ホームページが研究や学会活動の情報提供に多く利用されていることが分かりました。表 2 のホームページ上でアクセスするコンテンツは、学会情報や研究論文、学会大会に関するものが多く、表 1 と同様に研究活動や学会情報に関する情報として利用されていると考えられます。

一方、アクセスしにくいコンテンツとしては、図 7 から「過去のデータ」や「論文集」、「強震データ」、「スペシャルアドバイザー」であることがわかり、今後のサービス向上に役立てたいと思います。また、「その他」が多いのは、アンケートの回答に「なし」を追加しなかったため、「特になし」というご意見として選択していただいたため、結果的に多くなってしまいました。今後のアンケート内容の改善とさせていただきたいと思います。最後に表 3 にホームページで知りたい情報として、地域や企業、大学での地震工学に関するイベント情報や公開実験などの情報が多いことがわかり、委員会として情報収集に努めたいともいます。また、会員の皆様からの情報提供のご協力もお願いしたいと思います。

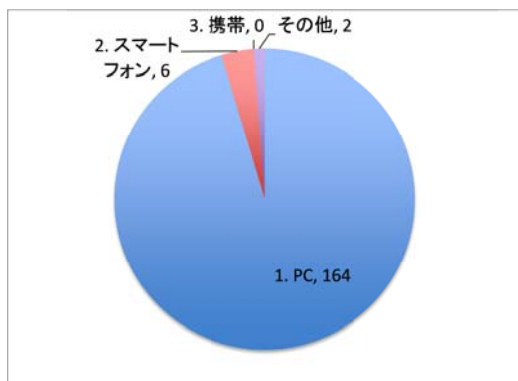


図 4: 閲覧の媒体

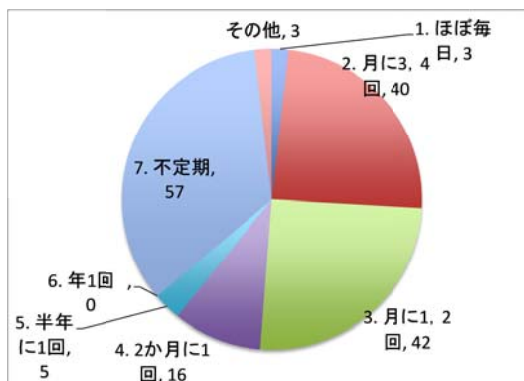


図 5: 閲覧する頻度

上記で 7(不定期)と回答された方に聞きます。不定期にアクセスする際、何がきっかけでアクセスしますか？(複数回答可 HP03)

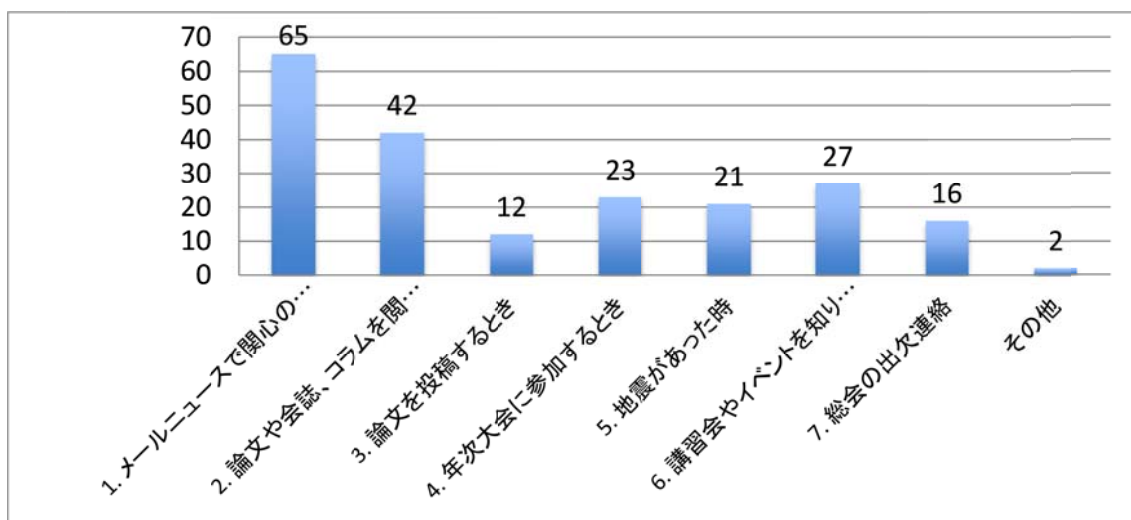


図 6: アクセスするきっかけ (頻度)

表 1: 日本地震工学会のホームページにアクセスする主な目的を教えてください。(複数回答可 HP04)

1. 最新の研究成果(論文、研究会、会誌)の入手	108
2. 学会の出版物や公開データ(過去のデータ、強震データ、学会出版物)の入手	72
3. 関連情報(地震情報など)の把握	71
4. 講習会やイベント情報(イベントカレンダー)の入手	91
5. 学会大会への参加(年次大会のページ)	58
6. ネットワーク・つながりを築くため	3
7. 入会するため	2
8. 会員情報に関する連絡	7
その他	4

表 2: 日本地震工学会のホームページでよくアクセスするコンテンツを 3 つ選択してください。(HP05)

1. トピックス	68
2. イベント	84
3. 最新号案内	28
4. 事務局からのお知らせ	28
5. 日本地震工学会(会長のあいさつ・概要・運営・組織・定款・規則)	14
6. 日本地震工学会関連ニュース	47

7. 研究委員会	9
8. 日本地震工学会年次大会	51
9. イベントカレンダー	24
10. 過去のデータ	8
11. 論文集	81
12. 会誌	17
13. 学会出版物	10
14. コラム	6
15. 地震情報	20
その他	4

日本地震工学会のホームページでアクセスし難い、探し難いコンテンツを選択してください。(複数回答可 HP06)

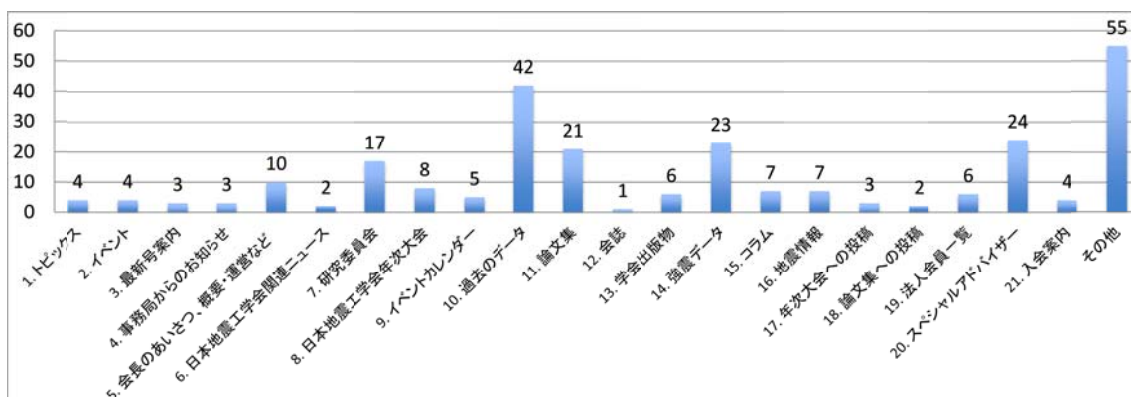


図 7: アクセスし難いコンテンツの回答

表 3: 日本地震工学会のホームページで今後知りたい情報を教えてください。(複数回答可 HP07)

1. 就職・転職活動に関する情報	24
2. 地域での地震工学等に関するイベント情報	83
3. 企業や大学での地震工学等に関するイベント情報	73
4. 公開実験・見学可能な実験の情報	116
5. 新規開発した技術や商品の情報	47
その他	11

SNS に関する調査結果について

次に、インターネットを活用した情報提供ということで、SNS に関する意識調査をさせていただきました。結果として、図 8 に示すように、利用したいと考えている方よりも SNS の認知度の問題や利用したくないと考えている方が多いことがわかりました。一方、利用したいと考えている方で利用してみたい SNS として、Facebook が多いことがわかりました。

日本地震工学会のホームページ上で SNS が利用できたら、利用したいですか？ (SNS01)

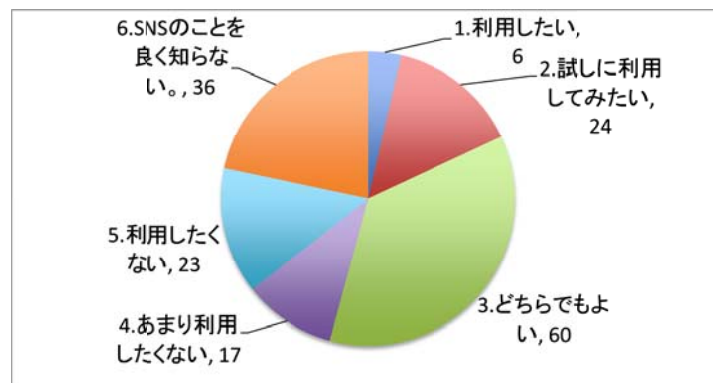


図 8: SNS の利用に関する意識

表 4: 上記質問で、1(利用したい)から 2(試しに利用してみたい)にお答えした方に聞きます。

(SNS02)

1. Facebook	14
2. Twitter	6
3. ブログ	3
4. 掲示板	1
5. 学会専用の SNS ページ	8
その他	3

メールニュースに関する調査

現状のメールニュースについて、アンケート調査した結果を以下に示します。図9、10から、多くの方が学会からのメールニュースをPCで受信・閲覧されていることがわかり、内容の表記もこれまで通り、テキストの文章とリンク先の情報が望ましいということがわかりました。また、表5からご覧になる内容については、「巻頭言」や「行事案内」が多いことがわかり、表6、7から今後メールニュースで知りたい内容として、ホームページでの内容と同様に地域や企業、大学での関連情報、公開実験に関するニーズが多いことがわかり、今後も引き続き現状の内容に加え、会員の皆様から頂いた関連情報などをメールニュースでも配信していきたいと思えます。メールの頻度については、月2回の配信を、2012年から月1回としておりますが、現状の月1回がニーズとして高いことがわかりましたので、引き続き月1回で配信を続けていきたいと思えます。

メールニュースに関するコメントも数多くいただきました。今後のメールニュース配信に際して、皆様から頂いたご意見を参考に充実した情報としていきたいと思えます。

メールニュースの受信・閲覧媒体 (mail01)

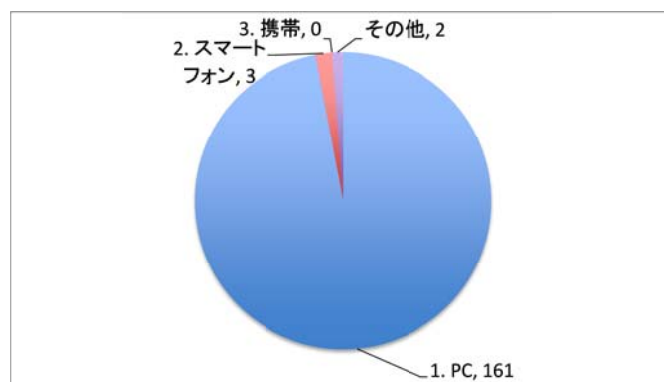


図9: ニュースを閲覧する媒体

メールニュースの表現・表記について (mail02)

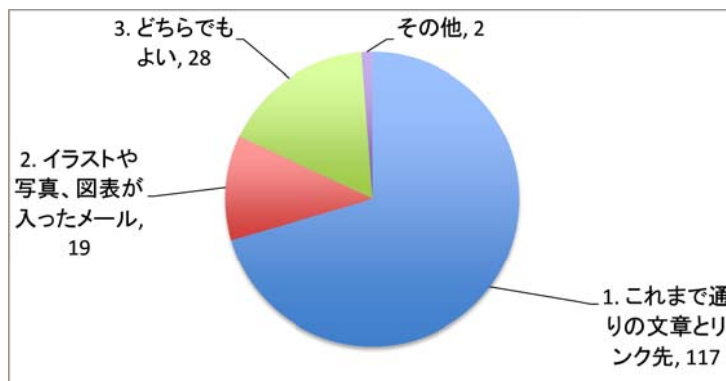


図10: メール表現方法について

表 5: メールニュースでよく読む内容を 2 つ選択してください。(mail03)

1. 巻頭言	90
2. 日本地震工学会関連ニュース	73
3. 災害情報	22
4. 行事案内・行事予定・論文募集(関連学協会を含む)	109
5. 人事公募情報・求人・求職情報	3

表 6: 今後メールニュースで知りたい情報を教えてください。(複数回答可 mail04)

1. 就職・転職活動に関する情報	20
2. 地域での地震工学等に関するイベント情報	99
3. 企業や大学での地震工学等に関するイベント情報	89
4. 公開実験・見学可能な実験の情報	113
その他	12

表 7: ご自身が、今後メールニュースで掲載したい情報を教えてください。(複数回答可 mail05)

1. 求職に関する情報	8
2. 地域での地震工学等に関するイベント情報	51
3. 企業や大学での地震工学等に関するイベント情報	54
4. 公開実験・見学可能な実験の情報	43
その他	53

表 8: ニュースの配信について現在月に 1 回となっていますが、メールニュースの頻度についてご意見をお聞かせください。(mail06)

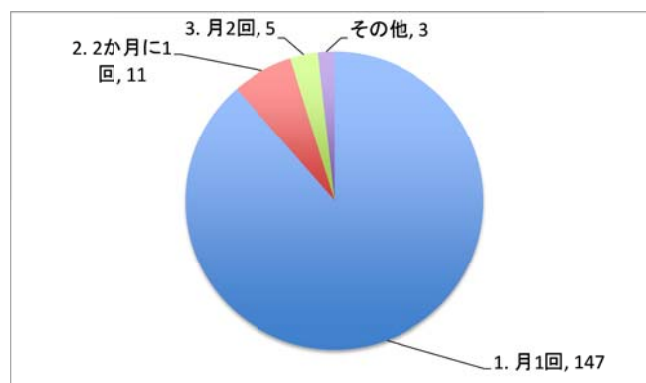


図 11: ニュースの配信頻度

コメント

1. 月 2 回配信される場合に期待する内容

- これまでと同様でよい
- 正確なイベント情報
- ニュース性のある記事、研究成果の出版情報、等
- 公開実験, イベント, 発表会, 講演会情報

2. 月 1 回配信される場合に期待する内容

- 最新研究動向の情報提供
- 最新の研究・論文に関する情報
- 本会の活動の動向、また研究委員会活動状況が掲載されているとよい。地震工学関連のイベント情報も便利だが、他機関の行事を網羅・紹介するためのメールニュースになってはいけない
- 重要なトピックス、学会としての見解、行事予定、掲載論文など
- 被害のみでなく、耐震対策等が効いた例
- 公開実験や見学可能な建設現場の情報
- JAEE の立場、進路など
- 新製品・技術などの紹介
- 行事案内・行事予定・論文募集
- 定期的な内容 その他のものは臨時で
- 地震工学等に関する最新情報
- 多ければ多いほど、内容は多岐で可
- 海外の研究情報
- 地震関連情報
- 講習、公開実験
- イベント情報と関連学会の論文投稿案内
- 現状と同じ程度の情報量でよい
- これまで通り、タイムリーな地震関連情報の配信
- 公開実験・見学可能な実験の情報
- 正確なイベント情報
- 地震工学に関する最近のトピック
- 公開実験, イベント, 発表会, 講演会情報

3. 2 ヶ月あるいは 4 半期に 1 回配信される場合に期待する内容

- 正確なイベント情報

- 各記事について、ビジュアル化等より充実した内容としたもの
- 頻繁にチェックする必要がある情報もあまりない。
- 2か月に1回程度で良いが、大会の前や大地震の直後等は臨機応変に増やすと良い。
- 公開実験, イベント, 発表会, 講演会情報

「JAEE NEWSLETTER」に関する調査

2012年9月から配信している「JAEE News Letter」についてもアンケート調査をさせていただきました。図12, 13からNews Letterの発行について多くの方に知っていただき、さらにNews Letterを読んでいただけたことがわかりました。一方で、ホームページ上からNews Letterへのアクセスが分かり難いというご意見もいただきました。

今回のアンケート調査では、News Letterを発行したばかりということで、様々なご意見もいただきました。いただいたコメントを参考に、会員の皆様の研究活動や情報収集に役立つNews Letterとなるようにしていきたいと思っております。

日本地震工学会では、2012年9月に「JAEE NEWSLETTER」を創刊しましたが、そのことを知っていましたか？ (NL01)

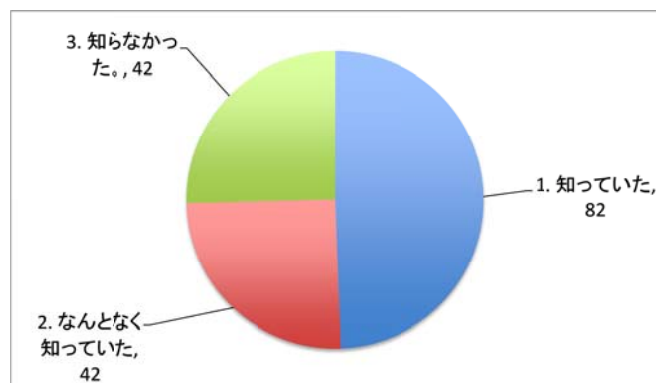


図12: JAEE NEWSLETTER の認知状況

前問で、「知っていた」とお答えした方にお尋ねします。「JAE NEWSLETTER」の創刊号を読みましたか？ (NL02)

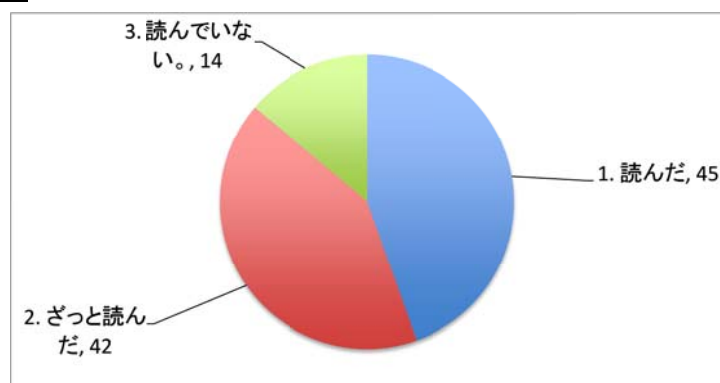


図 13: JAE NEWSLETTER の読者状況

「JAE NEWSLETTER」の感想や、今後の「JAE NEWSLETTER」に期待する内容があれば、ご意見をお聞かせください。

- NEWS WATCH、生活密着情報、防災余話が興味深く、今後も期待している
- 武村さんの記事を愛読しています
- 今後共宜しく願います。
- 英文版で世界に発信されたし
- カラーページで情報が見やすい。
- 国内外を問わず、研究者同士のコミュニケーションが図れる場や情報を提供してほしい。
- 書いてある内容が分からないので、タイトル程度は案内のメールの本文中に記して欲しい
- 有用な内容が掲載されている。
- 編集委員がおもしろいと思う研究の紹介
- 記事のテーマは学会が選んでいるようであるが、一般投稿を充実するのが良い。そのためシステムの整備を望
- 今後も活発な情報発信をしていただきたい
- なかなか力作だと思います。
- 会誌・NEWSLETTER・メールニュースの3つ全部は必要ないと思う
- 発刊側は大変と思いますが、益々の情報の充実を期待しております。
- 地震工学会のHP上のPDFファイルを開こうとすると異常に時間がかかるので改善して欲しい。他のHPではこういうことがない(唯一の例外は日本建築学会)ので、多分、地震工学会に固有な問題と思われる。

最後に本アンケート調査結果を今後の情報提供サービスの充実に活かしていきたいと思っております。ご協力いただき、ありがとうございました。

(IC 委員会 久保智弘)